

## はじめに

日本一の水田面積を誇る全国有数の大農業都市・新潟市では、水稲をはじめさまざまな野菜、果物、花きの生産、畜産、漁業が営まれています。季節ごとに私たちが目にし口にするこれらの商品は、市内外を問わず多くの人たちを魅了するとともに、本市が有する食の豊かさを特徴づけています。



このような素晴らしい産品が生まれた背景には、生産者による良いものを作ろうとする不断の努力に加え、人の気質・地勢・風土といった有形無形の田園資源の作用も大きかったからではないかと思っています。

このことから、本市ではこの貴重な田園資源を産品の生産・加工に関する6次化のみならず、子育て・教育・福祉など私たちの生活や都市の活力づくりに関連する6つの分野にも活かすことで、より新潟市らしい取り組みを進めようと、平成28年2月に「新潟市12次産業化推進計画」を策定しました。

本計画は本市の関連施策を体系化し、各分野の事業目的の達成に向けて田園資源の活用を進めるとともに、自発的な民間活動を顕彰することから始まりました。そしてこのたび、これまでの活動実績を踏まえ、今後の方向性を示すため、本計画の更新を行いました。

本市では農業を将来にわたり持続可能な産業としていくための「儲かる農業」と併せ、生産活動の背景あるいはその過程で育まれる本市の田園資源の活用を、今後も引き続き、官民が協働しながら進めてまいります。

新潟市長 中原 八一